

和地ひとみレポート No.113

平成26年度予算が賛成多数で可決

予算をどのように活かして事業をすすめるかが重要



■平成26年度予算が可決

…2月25日から開催されていたH26年東大和市議会第1回定例会の会期中に持たれた平成26年度予算特別委員会。当市においては議員全員が特別委員会委員になり、予算内容についての様々な質疑を行い、行政側から提出された予算内容について審議しました。その後の本会議最終日では平成26年度予算は賛成多数で可決となりました。(予算概要は次項を参照ください)

…26年度の一般会計、特別会計を合わせた全体の予算は、25年度の当初予算より約18億8,100万円増額の474億6,738万円。平成25年度、26年度と連続して増額となっています。歳入については、市の歳入全体の約42%を占める市税が昨年度より2%アップする予算立てのほか、株式市場が活発になっていることを受け、株式等譲渡所得割交付金は昨年度の765.2%という大幅アップを見込んでの予算となっています。一方、自動車取得税交付金については昨対マイナス46.1%、財産収入については市の所有する不動産の売払い収入を大幅に減額しているため昨対マイナス60.6%という予算立てです。

■教育費はアップしたが・・・

…歳出については、4月からの消費税率引き上げに際し、低所得者に与える負担の影響を軽減するために国が臨時的な措置として行う給付金(全額国からの交付)が計上されていることも影響し、民生費が25年度予算より7.3%アップし全体の55.5%を占めるほか、観光事業などの予算額アップの影響もあり商工費が昨対12.9%アップ。また、和地ひとみが懸念している教育費については、昨対2.7%プラスとなっています。ただし、教育費の一般会計予算に占める割合は10.3%。決算の数字は当初予算とは違いますが、東京都の教育委員会が示しているデータでは教育費が総行政費(一般会計とはイコールではありませんが、ほぼ同額)に占める割合の都内自治体の平均は最新データの平成24年度決算では12.4%。また都内の市の平均は13.1%となっています。平成26年度予算は予算総額がアップしたことにより教育費もアップしましたが、一般会計に占める教育費の比率をもう少しアップする必要があると考えます。

…しかし、指摘をする部分は細々あるとはいえ、全体的に見た場合、積極的な変化は見受けられなかったものの様々な施策も盛り込まれ、予算全体としては限られた財源の中でやりくりをして立てた予算であることが見て取れます。その結果により賛成多数で26年度の予算は可決となったと考えられます。

■民間企業のような感覚が必要では

…予算で和地ひとみが気になったのは、市の経営感覚の少なさ。世間でもいわれている行政の資産活用の弱さは東大和市でも見られる部分です。その一例として25年度予算で国の地域元気臨時交付金を投入し約4,500万円かけリニューアルしたプラネタリウム関連の予算を見ると、観覧料の歳入予算は170万3,000円。一方、プラネタリウムに投影するソフト制作委託料として歳出する予算は470万9,000円。観覧料が170万円しか見込めないものに対して470万円の経費では赤字事業です。そこで和地ひとみはこの予算に対して疑問をしたところ、観覧料に関しては過去の観覧者数の最高値を使用したとのこと。また、ソフトについては5ソフト購入するためとのことで、今後も金額は変わるが毎年かかってくる費用であるとの答弁でした。

…市は予算に新しいプラネタリウム投影機の購入金額に対する減価償却の考えを盛り込みません。民間企業と同じように考えたら、新たな設備を入れた費用の回収も考えるのですから、年間の赤字は予算上よりも大きくなり、何も対策を打たなければ、この事業は将来的に市の予算を圧迫するものになってしまいます。予算特別委員会では、市が新たに所有した「資産」としてプラネタリウムをもっと活用し、赤字運営にならないよう、近隣市の学校に定期的に観覧に来てもらう、イベントをして今まで以上の集客を図るなどの工夫をする必要があると提言しました。

■「やめる」「変える」決断も必要では

…また、昭和53年から実施している77歳、88歳、99歳の市民に対し5,000円を支給している敬老金。高齢化が進んでいることもあり、この予算は毎年増額となっています。決算の際にも、ただ現金を渡すのではなく、市内の商店を利用してもらう商品券にするなどの工夫も必要ではないかと和地ひとみは提言しましたが、26年度も同様の方法で現金をお渡しするとのこと。その目的は高齢者の見守りも兼ねているとのことですが、見守りは日常的に行うべきで、現金を持っていくことで実施することではないと思います。敬老の意を表す方法は他にもあります。この予算を計上することについても疑問がないわけではありませんが、予算をどのような事業に活用していくか。また、長年やっているから継続するというのではなく、予算のかかる事業を一つずつ精査する必要があります。4月1日からスタートする新年度の予算については、金額もそうですが、その活用方法についても、より厳しいチェックが必要です。

■平成26年度予算の財政規模（金額単位は千円）

会計名	平成26年度	平成25年度	増減額	増減率
一般会計	28,366,000	27,465,000	901,000	3.3%
国民健康保険事業特別会計	9,621,668	9,470,231	151,437	1.6%
下水道事業特別会計	2,180,128	2,182,390	-2,262	-0.1%
土地区画整理事業特別会計	267,230	196,381	70,849	36.1%
介護保険事業特別会計	5,390,594	4,717,585	673,009	14.3%
後期高齢者医療特別会計	1,641,762	1,553,864	87,898	5.7%
特別会計合計	19,101,382	18,120,451	980,931	5.4%
総合計	47,467,382	45,585,451	1,881,931	4.1%

■歳入予算における一般財源の額と割合

一般会計予算の歳入における市税は、歳出予算の財源内訳において、一般財源として表します。

一般財源はどのような経費にも使うことができる財源(お金)のことで、市税を主なものとする以下のものが一般財源です。

		予算額(千円)	一般財源に占める割合
①市税	市民税個人・法人、固定資産税、都市計画税、市たばこ税、軽自動車税など	12,155,052	69.2%
②国からの交付金	地方譲与税、地方交付税など	2,069,905	11.8%
③東京都からの交付金	都税に連動する交付金で、地方譲与税、自動車取得税、利子割交付金など	1,290,390	7.3%
④財政調整基金のとりぐずし	積立基金(≒市の貯金)の取り崩しで、特定目的基金を除く	261,444	1.5%
⑤臨時財政対策債	地方財政の一般財源を補てんする市債(借入金)	1,500,000	8.6%
⑥その他	繰越金、行政財産の目的外使用料、過年度事業の精算に伴う収入など	285,844	1.6%

■一般会計歳出予算（金額単位は千円）

		平成26年度	平成25年度 (当初予算)	比較	増減率 (%)
議会費	市議会運営のための費用	325,842	330,901	▲ 5,059	▲ 1.5
総務費	防犯対策や市役所の運営の費用	2,439,488	2,519,443	▲ 79,955	▲ 3.2
民生費	高齢者や障害者、児童福祉などのための費用	15,737,661	14,669,292	1,068,369	7.3
衛生費	保健や予防、ごみ処理などのために使われる費用	2,271,369	2,192,625	78,744	3.6
労働費	中小企業勤労者への融資に要する費用	3,020	3,020	0	0.0
農林業費	農業の振興などのための費用	56,899	55,504	1,395	2.5
商工費	商工業の振興などのための費用	113,470	100,470	13,000	12.9
土木費	道路や公園の整備などのための費用	1,666,402	1,854,948	▲ 188,546	▲ 10.2
消防費	災害対策などのための費用	1,119,974	1,156,781	▲ 36,807	▲ 3.2
教育費	学校や図書館、公民館の運営などのための費用	2,917,626	2,841,311	76,315	2.7
公債費	借入金の返済のための費用	1,683,474	1,705,057	▲ 21,583	▲ 1.3
諸支出金	基金の積立などその他の費用	775	5,648	▲ 4,873	▲ 86.3
予備費		30,000	30,000	0	0.0
歳出合計		28,366,000	27,465,000	901,000	3.3

■各家庭が収めた税金の使途

市民税(個人)の歳入予算額をH26年1月1日現在の世帯数37,108で割ると、約136,000円になります。それを、各家庭が1年間に収める税金の額とした場合の使途別の金額は右記の通りです。

	金額	割合
民生費	¥56,032	41.2%
総務費	¥17,136	12.6%
教育費	¥16,864	12.4%
衛生費	¥13,192	9.7%
公債費	¥13,056	9.6%
土木費	¥9,928	7.3%
消防費	¥5,984	4.4%
議会費	¥2,448	1.8%
農林業費・商工費	¥1,088	0.8%
労働費・諸支出金等	¥272	0.2%
	¥136,000	100.0%



■連絡先 和地 ひとみ事務所
 【メール】wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp
 【電話・FAX】042-516-8546
 〒207-0005

東大和市
市議会議員

和地 ひとみ

東大和市高木3-274-2-102